



土木紀行

こうべきゅうがいにくじんきよりゅうち げすいどう 神戸旧外国人居留地の下水道

ひょうごけんこうべしちゅうおうく
兵庫県神戸市中央区

安政5年(1858),江戸幕府は諸外国と日米修好通商条約を結び,長崎,神戸,横浜,新潟,函館の5港が開港されることに決まり,神戸にも外国人居留地が造成されることになりました。しかし,幕末の情勢不安の中,神戸港(兵庫津)の開港は慶応3(1867)年まで延び,また,日本人と外国人の衝突を避けるため,居留地は兵庫のまちの中心から東へ3.5kmも離れた場所に設けられることになりました。

居留地で最初の土地の競売が行われたのは,開港翌年の慶応4年。居留地の範囲は,旧生田川,鯉川筋,旧西国街道,そして海岸線に囲まれたエリアで,ほぼ500m四方でした。まちの設計を行ったのは,英国人土木技師,ジョン・ウィリアム・ハート。碁盤の目状に地割がされ,街路,公園,下水道などが計画的に整えられました。このまちの作りは非常に評価が高く,当時の英字新聞でも,東洋における最も美しく整備されたまち」と記されています。

中でも特筆すべきは,明治5(1872)年頃に完成した下水道。これは,近代下水道施設としては,横浜と並んでわが国で最も古いものです。神戸付近で焼かれた国産レンガを用いて,直径約90cmの円形管と,直径約40×54cmの卵形管の2種類がつけられ,南北道路に沿って6本,総延長約1,880mが敷設されました。現在でもその一部(約90m)が,大丸百貨店東側と旧居留地十五番館前などに残っており,雨水幹線として使われています。また,その価値が認められて,平成16(2004)年には,国の登録文化財にもなりました。

た。このうち旧居留地十五番館前では,歩道が切り取られて,道路の下にあるレンガ造りの管の様子がわかるようになっているほか,卵形管もモニュメントとして展示されています。

今日,居留地時代の建物で現存しているのは,この十五番館のみです。しかし,地図を見てもわかるように,この一帯の整然とした地割りは,ハートが設計した当時のまま。また,明治32(1899)年の居留地返還後,大正から昭和初期に建てられたレトロなビルが立ち並び,ハイカラ神戸の面影が漂う洗練されたまちとして,賑わっています。

一方,三宮や元町の駅から山の手方面へ進むと,当時外国人たちが暮らした洋館が建ち並び「北野異人館街」が広がっています。明治に入り,旧居留地が手狭になってくると,外国人たちはこぞってこの地に居を構えました。開発や老朽化,震災で多数の館が失われましたが,残った館は保存・修復され,その多くが一般公開されてい



写真 1 旧居留地



写真 2 地下水①



写真 3 地下水②

ます。神戸を巡るなら、旧居留地とあわせてぜひ訪ねてみたいまちです。

神戸ルミナリエ

阪神・淡路大震災のあった平成7年(1995)年12月、犠牲者への鎮魂とまちの再生への希望をこめて催されたのが、光の祭典「神戸ルミナリエ」です。以後10年以上に渡り、毎年12月に、旧外国人居留地で開催。数百万人も人が訪れる、神戸の冬の風物詩として定着しました。技師が一つ一つ手作業で取り付けた無数の電球の灯りが織りなす風景は、まさに光の芸術作品。会場は、元町方面から三宮方面への一方通行となっており、光の回廊を抜けていくと、その先の公園に巨大な光りの壁掛けが広がっています。当初はクリスマスの時期に行われていましたが、混雑を避けるなどの意味もあり、今では12月上旬の開催に。なお、平成20(2008)年は、12月4日から15日までの12日間、行われます。

<p>【交通】</p> <p>各線「三宮駅」下車，南西へ徒歩約15分</p> <p>【探訪コース】</p> <p>三宮からフラワーロードを南へ進むと，神戸市役所が見えてきます。旧居留地はその西側一帯です。居留地内を南北に貫く広い通り，京町筋沿いには，元銀行の建物を改装した重厚な神戸市立博物館があります。館内では神戸の歴史がわかる常設展示のほか，特別展も随時開催されています。下水道管が見られるのは，ちょうど博物館の西側。ビル群の谷間に残された2階建ての洋館・旧居留地十五番</p>	<p>館の前の歩道が切り取られており，中をのぞくと煉瓦造りの下水管が見られます。また，地上には卵形管も展示。十五番館はカフェ・レストランとして利用されており，往時の雰囲気味わいながら，食事やティータイムが楽しめます。居留地内に建つレトロビルは，洒落たショップやカフェなどになっているものも多く，ゆっくり散策してみたいものです。</p> <p>旧居留地から南西へ進み，国道2号を渡ると，メリケンパークです。みなと神戸のランドマークともいえるポートタワーや白い屋根が特徴の神戸海洋博物館，そして震災で壊れた岸壁を保存した神戸港震災メモリアル</p>	<p>パークなどがあります。</p> <p>【特産品】</p> <p>港の開港とともに，神戸にはいち早く海外の文化が上陸しました。パンや洋菓子もその一つ。当初は一部の人しか食せなかった贅沢品でしたが，明治から大正にかけて続々とパン店や洋菓子店がオープン。今ではすっかり神戸名物になりました。ドラマに描かれた老舗，誰もが知る有名店の本店なども市内各所に点在しています。</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>神戸国際観光コンベンション協会 電話 078 303 1010</p>
---	--	--